



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 安楽亭

コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柳 時機

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務人事部長

(氏名) 本多 英明

TEL 048-859-0555

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	3,872	5.3	△10	—	△32	—	△79	—
24年3月期第1四半期	3,675	△13.9	△66	—	△91	—	△85	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △89百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △85百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△3.72	—
24年3月期第1四半期	△3.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	13,772	4,636	33.6
24年3月期	14,132	4,726	33.4

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 4,629百万円 24年3月期 4,719百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,300	12.9	270	—	210	—	140	—	6.54
通期	16,070	7.6	330	—	210	—	95	—	4.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社相澤、除外 1社 (社名) 株式会社二十一屋
(注) 詳細は、添付書類3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より、減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	21,504,347 株	24年3月期	21,504,347 株
----------	--------------	--------	--------------

- ② 期末自己株式数

25年3月期1Q	109,392 株	24年3月期	108,500 株
----------	-----------	--------	-----------

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	21,395,348 株	24年3月期1Q	21,395,749 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要等により、一部に緩やかな回復基調が見られるものの、欧州における財政危機を背景とした世界経済の先行きへの不安や、円高・株安の長期化により、国内景気はなお不透明な状況が続いております。

当社グループの主力事業である外食業界におきましても、東日本大震災の影響からの回復基調を維持したものの電気料金の値上げ、消費税増税の動き等により消費者の節約志向は依然として強く、焼肉の売上は他社焼肉チェーンでのO-111等の食中毒事故の風評被害で大幅ダウンした昨年より少し良くなっておりますが、ファミリー層の客足の戻りは未だ十分ではない状況にあります。

このような状況下、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高38億72百万円（前年同四半期比5.3%増）、営業損失10百万円（前年同四半期は営業損失66百万円）、経常損失32百万円（前年同四半期は経常損失91百万円）、四半期純損失79百万円（前年同四半期は四半期純損失85百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 安楽亭業態

当第1四半期連結累計期間に1店舗を閉鎖した結果、安楽亭業態の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は203店舗であります。内訳は直営164店舗、暖簾5店舗、F C 34店舗であります。

販売促進並びに商品開発につきましては、「スポーツ家族応援！おかわりフェスティバル」、「大恐竜フェア」、「初夏のパワーアップ半額クーポン祭」等、安楽亭の楽しさを伝えるフェアやメニュー作りを行ってまいりました。

以上の結果、安楽亭業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は32億84百万円（前年同四半期比5.5%増）となり、セグメント利益は1億3百万円（前年同四半期比212.1%増）となりました。

② 七輪房業態

七輪房業態の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は23店舗であります。内訳は直営21店舗、F C 2店舗であります。

販売促進並びに商品開発につきましては、人気大皿七輪房盛り合わせ等のグレードアップや「春の彩食健美フェア」、「生ビールスクラッチフェア」等、七輪房の楽しさを伝えるフェアを開催してまいりました。

以上の結果、七輪房業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は4億45百万円（前年同四半期比8.6%増）となり、セグメント利益は26百万円（前年同四半期比226.5%増）となりました。

③ その他業態

当第1四半期連結累計期間に「スンドゥブcafé KARIN」1店舗を開設した結果、その他業態の当第1四半期連結会計期末の店舗数は17店舗であります。内訳は直営9店舗、暖簾2店舗、F C 6店舗であります。

以上の結果、その他業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は1億42百万円（前年同四半期比7.6%減）となり、セグメント損失は13百万円（前年同四半期はセグメント損失13百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ3億60百万円減少し、137億72百万円となりました。これは主に、現金及び預金が減少したこと、有形固定資産の減価償却等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ2億69百万円減少し、91億36百万円となりました。これは主に、借入金の減少、支払手形及び買掛金の減少等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ90百万円減少し、46億36百万円となりました。これは主に、四半期純損失の計上によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績につきましては、現時点では平成24年5月11日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結子会社のうち、㈱サリックスマーチャンダイズシステムズ(存続会社)と㈱デイリーエクスプレス(消滅会社)及び㈱相澤(存続会社)と㈱二十一屋(消滅会社)は、平成24年4月1日付で合併しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	999,864	833,491
受取手形及び売掛金	288,272	241,389
商品及び製品	89,159	107,706
仕掛品	326	261
原材料及び貯蔵品	230,144	238,365
前払費用	216,623	214,617
繰延税金資産	2,733	224
その他	129,359	101,654
流動資産合計	1,956,482	1,737,710
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,697,949	2,643,326
機械装置及び運搬具（純額）	19,958	20,136
工具、器具及び備品（純額）	75,069	72,988
土地	5,991,424	5,967,908
リース資産（純額）	20,304	19,008
建設仮勘定	183	—
有形固定資産合計	8,804,890	8,723,368
無形固定資産	103,222	103,198
投資その他の資産		
投資有価証券	63,830	53,481
長期貸付金	911,971	899,770
長期前払費用	29,822	30,880
繰延税金資産	10,348	10,200
敷金及び保証金	2,931,177	2,893,793
その他	58,381	57,517
貸倒引当金	△737,530	△737,351
投資その他の資産合計	3,268,001	3,208,292
固定資産合計	12,176,113	12,034,859
資産合計	14,132,596	13,772,570

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	498,372	436,815
短期借入金	6,843,494	6,710,337
リース債務	5,443	5,443
割賦未払金	60,828	39,679
未払金	214,915	228,496
設備関係未払金	61,985	17,724
未払費用	451,194	491,633
未払法人税等	90,181	59,719
未払消費税等	45,665	69,519
賞与引当金	61,400	30,700
転貸損失引当金	2,680	2,680
その他	447,296	423,083
流動負債合計	8,783,458	8,515,835
固定負債		
長期借入金	11,400	—
リース債務	15,876	14,515
長期割賦未払金	7,301	2,056
繰延税金負債	115,566	115,445
退職給付引当金	122,052	124,120
役員退職慰労引当金	249,637	260,991
転貸損失引当金	31,367	31,099
その他	68,985	71,985
固定負債合計	622,186	620,212
負債合計	9,405,644	9,136,047
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,182,385	3,182,385
資本剰余金	2,537,261	2,537,261
利益剰余金	△909,540	△989,194
自己株式	△66,105	△66,463
株主資本合計	4,744,001	4,663,989
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△24,369	△34,627
その他の包括利益累計額合計	△24,369	△34,627
新株予約権	7,320	7,160
純資産合計	4,726,951	4,636,522
負債純資産合計	14,132,596	13,772,570

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	3,675,820	3,872,024
売上原価	1,354,459	1,409,270
売上総利益	2,321,360	2,462,753
販売費及び一般管理費	2,387,534	2,473,115
営業損失(△)	△66,173	△10,361
営業外収益		
受取利息	8,677	8,404
受取配当金	701	983
受取地代家賃	2,708	2,671
貸倒引当金戻入額	1,384	158
その他	8,723	9,560
営業外収益合計	22,195	21,779
営業外費用		
支払利息	45,230	40,787
その他	2,545	3,208
営業外費用合計	47,776	43,995
経常損失(△)	△91,754	△32,578
特別利益		
固定資産売却益	2,449	476
受取補償金	30,464	—
特別利益合計	32,914	476
特別損失		
固定資産除却損	984	7
減損損失	—	23,632
賃貸借契約解約損	7,844	4,632
特別損失合計	8,829	28,272
税金等調整前四半期純損失(△)	△67,668	△60,375
法人税、住民税及び事業税	17,463	16,620
法人税等調整額	153	2,657
法人税等合計	17,617	19,277
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△85,286	△79,653
四半期純損失(△)	△85,286	△79,653

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△85,286	△79,653
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△60	△10,257
その他の包括利益合計	△60	△10,257
四半期包括利益	△85,346	△89,911
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△85,346	△89,911

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	3,111,768	410,067	153,984	3,675,820	3,675,820	—	3,675,820
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,111,768	410,067	153,984	3,675,820	3,675,820	—	3,675,820
セグメント利益又は 損失(△)	33,313	8,215	△13,363	28,165	28,165	△94,339	△66,173

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	3,284,392	445,327	142,303	3,872,024	3,872,024	—	3,872,024
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,284,392	445,327	142,303	3,872,024	3,872,024	—	3,872,024
セグメント利益又は 損失(△)	103,963	26,819	△13,991	116,792	116,792	△127,154	△10,361

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、これによる各セグメント利益又は損失に与える影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては116千円であります。

報告セグメントに帰属しない全社資産について、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては23,516千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。